

庭塚小学校だより 庭塚っ子 NO. 37

～ みんなで創る どこにもない 魅力的で 楽しい学校～

令和元年12月13日

発行者

庭塚小学校長 渡邊かほる

ありがとう
ございました

11月末から12月始めにかけて行われた個別懇談会に、お忙しい中ご来校くださりまして、ありがとうございました。保護者の皆さんとよきパートナーとして手を取り合って、子ども一人一人がもつ力が発揮できるよう取り組みたいと教職員一同決意を新たにいたしました。子どもたちの教育のために、今後ともよろしくお願いいたします。



生活科・
総合的な学習の時間

たくましく生き抜く力～答えは一つではない～

身近な課題を解決していく「生活科・総合的な学習の時間」に、庭塚小学校は真剣に取り組んでいます。教師主導ではなく、子どもたちの思いを大切にして、国語科や算数科で身に付けた力を活用しながら学んでいくので、学力が付く教科・領域と言われています。協働的に取り組み納得解を見付けていく力など、これからの時代に大切な力を育てます。

3年総合「名人といっしょにトライ」

庭塚の魅力について話し合い、果樹園が多いことに気付いた3年生は、一番身近な庭塚の果物栽培を題材として、果物作りの名人に学んでいます。花粉交配や袋かけなどの梨作りの体験を通して疑問に思ったことなどを質問したり話し合ったりしてきました。この日の学習は、「庭塚の果物のよさとは何だろう」ということで、自分達の考え、家の人の考え、お客さんにインタビューしてきたことを整理しました。紺野さんにも実際に授業に来ていただき、生産者の考えも伺い、自分達の考えを深めました。友達と真剣に課題を解決しようとする姿が、どの子どもにもみられました。



4年総合「なぜ、なぜ？庭塚」

学校周辺の散策をして、今まで目にしていた気にもとめていなかった社寺・仏閣・史跡そして学校を意識してみると、先人たちの苦労や地域に対する思いなどを探究する学習です。ふるさととのよさに気づき、将来「自分のふるさと庭塚」について語り継ぐことができる大切さについても気付いていく子どもを目指します。この日の学習は、「庭塚」の名前の由来について追究しました。語り部の方に来ていただいたり、くま手チャートにまとめたり、学びに真剣な子ども達の姿がみられました。



6年総合「はばたけ庭塚っ子」

今まで調べてきた高湯温泉の学習を振り返り、自分達の活動は地域のためになっていったことを知ることから、今度は、6年生として学校のために何かできないかを考え、実践していく学習です。この日の学習は、お世話になった方々からの感謝のビデオメッセージを視聴し、嬉しい気持ちになった子ども達が、「どんなことができるか」と真剣に話し合いました。「それでよくなるのかな？」などお互い語り合いながら、真剣に、考えをまとめている姿がみられました。

